




2021年度7月野鳥と自然観察会 報告

世話人代表 奥井 雅晴

日 時	2021年7月11日（土）10時～12時30分		報告者 奥井 雅晴	
探鳥地	鳥原貯水池			
参加人数	26期3名・27期7名 28期7名	顧問2名	総計19名	天候 晴れ
観察コース	鶴越駅→三日月橋→地蔵前広場→花の休憩所→立ヶ畑堰堤→都由乃のエノキ			
観察概要	<p>集合地点の鶴越駅前に参加者チェック、駅でトイレを澄まして集合写真撮影後、六甲縦走路を三日月橋に向け林間の山道を野鳥の声を聞きながら歩きます。三日月橋分岐を左に行けば鳥原貯水池左岸周遊路や菊水山登山路（縦走路）となりますが、今回は舗装路を右へ地蔵前広場（ひよどり道・ひよどり展望公園への分岐）を平林顧問からハムシ類の説明を受けながら進むと、カワセミ撮影スポットで超望遠レンズを構えた愛鳥カメラマンに出会います。舗装路を花の休憩所（トイレ）から水と森の回廊路に入り、左に貯水池を見ながら立ヶ畑堰堤（ダム）へと進み、堰堤脇の公園で「とりあわせ」を行い、観察会を終了した。昼食休憩後、石井町、湊川方面への帰路に堀池顧問の案内で都由乃の森エノキ（兵庫区都由乃町・市民の木）のアオバズク1羽が観察できました。</p> <p>鳥原貯水池は石井川を堰き止めて1905年（明治38年）に竣工したアーチ型ダム・立ヶ畑堰堤（国の登録有形文化財）による人工湖です。ダムの建設に当たり400人ほどの村人が離村を余儀なくされ、当時村で営まれていた線香の原料の樹皮を水車で粉末にするための石臼を、水に沈む村の足跡として貯水池の堤に残したとのこと。</p> <p>【観察できた鳥】 カイツブリ、カワセミ、スズメ、ツバメ、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、※アオバズク8種 ※アオバズク（都由乃町にて）</p> <p>【声を聞いた鳥】 アオゲラ、ウグイス、コジュケイ、センダイムシクイ、ソウシチョウ5種</p>			
次回以降の予定	カレッジ内のクラブ掲示板及び会からのメールで案内します。			
	  			
	鶴越駅脇で集合写真		カワセミ観察ポイント	
	都由乃の森のアオバズク (提供：野村光代様)			